

平成22年度 第4回花見川区地域福祉計画推進協議会議事要旨

日時 平成23年3月7日(月) 午後1時30分～午後3時30分

場所 花見川保健福祉センター3階大会議室

出席委員数 20名

欠席委員数 8名

事務局 7名

【1】次第

1 開会

- 2 議題 (1) 第2期千葉市地域福祉計画(案)及び第2期花見川区地域福祉計画(案)の市民説明会について
- (2) 第2期千葉市地域福祉計画(案)及び第2期花見川区地域福祉計画(案)のパブリックコメントについて
- (3) 第2期花見川区地域福祉計画最終案の承認について
- (4) 次年度の区地域福祉計画推進協議会について
- (5) 区地域福祉計画の推進状況について
- (6) 第2期千葉市地域福祉計画(案)について
- (7) その他

3 閉会

【2】議事要旨

委員定数28名のうち、20名出席、8名欠席を確認し開会した。

事務局司会の下、配布資料の確認を行い、議題に入る前に委員長から開会の挨拶があった。

議題(1) 第2期千葉市地域福祉計画(案)及び第2期花見川区地域福祉計画(案)の市民説明会について

高齢障害支援課から市民説明会について資料に沿って説明があった。

<質疑応答>

委員 : 社協の会費の使い方について「社協の運営費の割合を減らしたら」という意見に対し、どのように回答したのか。

委員長 : 従来どおりであると回答した。

委員 : 「高齢者や障害者の情報を町内自治会長にも知らせるべきではないか」という意見に対し、どのように回答したのか。

委員 長：これは災害時の要援護者支援事業のことである。現在は、モデル地区だけで実施している。

委員：23年度は全地区で実施するのか。

委員 長：当初はその計画だったが、現段階では難しい状況である。

委員：参加者数が他区に比べれば多いとはいえ、36名は少ない。市民の関心の低さが参加者数に表れている。この結果を千葉市はどう考えているのか。今後、どう市民に周知していくのか。

事務局：100名の参加者を見込んでいたので、広報が足りなかったものと反省している。区計画は普及・啓発がもっとも重要であるので、これまで以上に広報に努めていきたい。

委員 長：町内自治会を通して広報しないと人は集まらない。

議題（2）第2期千葉市地域福祉計画（案）及び第2期花見川区地域福祉計画（案）のパブリックコメントについて

地域福祉課からパブリックコメントについて説明があった。

<質疑応答> なし

議題（3）第2期花見川区地域福祉計画最終案の承認について

高齢障害支援課から第2期花見川区地域福祉計画最終案について資料に沿って説明があった。

<質疑応答>

委員：表紙イラストの雲の傾きが下に落ちていくように見えるので直したほうがよいのではないか。

資料編の施設一覧にあんしんケアセンターと居宅支援事業所を加えてほしい。

事務局：修正する方向で調整する。

副委員 長：60ページの横戸台と横戸町の世帯数が逆ではないか。

事務局：数字の誤りについて再度全て確認する。

事務局：70ページの委員名簿について、所属団体等の欄の「継続公募」「公募」の表記について、「公募」に統一したいと考えている。

委員：主任児童委員と児童委員はどう違うのか。

副委員 長：主任児童委員は、民生委員、児童委員、主任児童委員、3つの委嘱を受ける。

- 事務局 : 主任児童委員も民生委員・児童委員である。地区全体の主に子どもに関わるのが主任児童委員、地区の中をさらに細かいエリアに分けて、その受け持ちエリアの中をお年寄りから子どもまで対応するのが民生委員・児童委員である。
- 委員 : 資料編に地区部会の地図を入れてほしい。
- 事務局 : 追加することとしたい。
- 委員 : 町内自治会に地域福祉に取り組んでもらおうと思っても、福祉は民生委員の仕事だから、町内自治会は関係ない、と言われてしまう。本計画書の始めに、地域福祉の考え方を明記し、町内自治会の日頃の活動そのものが地域福祉であることがわかるよう追記できないか。
- 委員長 : 福祉は民生委員だけがやればよいという時代ではない。町内自治会や社協地区部会が中心となり、民生委員も連携して取り組まなければならない。
- 事務局 : 地域福祉の理念については、第1章がそれに当たるものだと考えられる。

委員長が区計画最終案について諮ったところ、全員異議無く可決承認された。

議題（４）次年度の区地域福祉計画推進協議会について

高齢障害支援課から次年度の区地域福祉計画推進協議会について資料に沿って説明があった。

<質疑応答>

- 委員 : 3月下旬以降に委員の推薦依頼文を出すとのことだが、町内自治会等は5月から6月にならないと人選できない。
- 事務局 : 町内自治会等の総会が終わらないと推薦できないというのは、承知している。したがって、回答は5月末もしくは6月頃までにいただければよいと考えている。
- 委員長 : 事務局は、現在の委員が再任したほうがよいとの考えか。
- 事務局 : そのように考えている。
- 委員 : 委員が固定していると、新しい意見が出てこないのでは、例えば半分くらい入れ替えてもいいのではないか。
- 事務局 : 他区も含め推進協の委員のあり方について、地域福祉課で検討しているので、参考意見として承りたい。
- 委員 : 私は、自治会の役員ではないが一会員として、自治会の会議で推進

協の報告をしているが、他の委員の皆様は報告しているのか。

委員長：している。

委員：私は、犢橋中学校区の町内自治会の会議で説明しているが、区計画を知らない人には伝わりづらい。そこで、説明しやすいように要約版を作っていたきたい。

事務局：わかりやすいようにまとめたリーフレットを市計画、区計画とも作る予定である。作成時期は未定である。町内自治会等に配付したいと考えている。

委員：障害の分野では地域との連携が課題になっていて、例えば町内自治会と障害者施設が一体となって活動する拠点の整備や、地域活動に障害者が加わるような取り組みに対し、補助金を出そうという動きもある。これまでの推進協では、地域活動が話の中心だったので、あまり発言できなかったが、これからは障害者施設の立場から情報発信できるような会議になればいいと思う。

事務局：推進協のあり方・役割については、他区でも見直したほうがよいという声が上がっており、今後検討していく。

議題（５）区地域福祉計画の推進状況について

社会福祉協議会から区地域福祉計画の推進状況について資料に沿って説明があった。

<質疑応答> なし

議題（６）第２期千葉市地域福祉計画（案）について

地域福祉課から、第２期千葉市地域福祉計画（案）について資料に沿って説明があった。

<質疑応答>

委員：先日、県から地域支え合い体制づくり事業補助金の調査が来たが、これは、市計画（案）の「地域における活動資金づくりへの支援」に合致するものか。

事務局：市としても説明会に出てみないと正確なところがわからないが、計画に沿うものであれば、周知したい。

委員：平成２３年度から旧犢橋保健センターの跡施設を利用できることに

なった。しかし、財政が厳しく施設改修は最小限で、基盤等地域活動に必要な物品もないものと思われる。そこで、市計画（案）にある「拠点を確保するための支援」で支援をしていただくことを要望する。

事務局 : 4月に開設する旧小中台保健センターでも基盤等は用意していない。地域の方々と共に施設を育て、推進協委員の皆様のお知恵も拝借しながら進めていきたい。

鶴岡委員 : 社協会費の3割の用途について、地域福祉交流館へ用途を指定して寄付することができるか。

事務局 : できない。

議題（7）その他

事務局から推進協だより第10号の発行について説明があった。

最後に委員長・副委員長から1年間の締め括りの挨拶をし、午後3時30分花見川協議会は閉会した。